

2019年度 恵 愛 会 事 業 報 告

1. はじめに

2019年度は、“地域に根ざしたサービスの提供”を目標に掲げ、地域包括ケア病床の有効活用を図るため、11月に地域包括ケア病床を12床増床し、医療事業と在宅事業の連携を推し進めた。地域医療機関との連携では、CT・MRIの委託契約から紹介検査に変更、医療機関への訪問件数を増やすことで、紹介件数の増加を図った。健診事業では、業務をタスクシフトすることで、特定健診の増加につなげた。2018年度末に2名、年度内に2名の医師が退職したことが大きく影響し、法人全体の収益は予算に未達。対前年比でも▲1億3千万円と厳しい結果となり、医師体制の充実が急務である。

一方、減収に対応するため、人員配置の見直しを行い、費用コントロールに努めた。

経営面では外来収益は予算を達成し、手術件数は対前年104.3%の伸率であった。入院収益は医師体制の変更が大きく影響し、▲約1億8千万円であった。在宅事業部では、利用者の数は変わらないものの、終末期の利用者の入れ代わりが多く、訪問回数自体が減少し、約1千万円の減収。

2020年度は医師体制を充実させ、経営の安定化を図るとともに、ご利用者や地域のニーズを再検証し「急性期・高齢医療、地域包括・在宅医療、健診」のサービス・機能で、どのように地域へ貢献していくか具現化し、取り組んでいく。

※各事業別の主な経営成績は以下の通りである。

(千円)

科 目	事業別	前年実績	2019年度				対前年 実績比
			予 算	実 績	差 異	対予算比	
医業収益		4,961,136	5,138,800	4,827,863	▲310,937	93.95%	97.31%
	病院	4,795,941	4,959,700	4,674,000	▲285,700	94.24%	97.46%
	在宅	165,195	179,100	153,863	▲25,237	85.91%	93.14%
医業費用		5,077,380	5,152,800	4,975,040	▲177,760	96.55%	97.98%
	病院	4,912,729	4,985,200	4,809,032	▲176,168	96.47%	97.89%
	在宅	164,651	167,600	166,008	▲1,592	99.05%	100.82%
経常利益		▲99,273	100	▲135,277	▲135,377	-	-
	病院	▲100,240	▲11,900	▲123,451	▲111,551	-	-
	在宅	968	12,000	▲11,826	▲23,826	-	-
当期純利益		▲97,268	0	▲135,208	▲135,208	-	-
	病院	▲98,235	▲12,000	▲123,382	▲111,382	-	-
	在宅	968	12,000	▲11,826	▲23,826	-	-

2. 聖隷富士病院

2019年度は11月に一般病棟の一部12床を地域包括ケア病床へ転換し、在宅・レスパイトなど地域からの入院受入を強化した。その結果、地域包括ケア病床の利用者数は6.4名/月増加し35.5名/月、41.9%を地域から受け入れる病床として一定の役割を果たすことが出来た。健診事業では、採血や身体計測を検査課へタスクシフトしたことで、特定健診の件数が約250名/年増加した。地域との連携では、CT・MRI検査を委託契約から紹介方式へ変更したこと、医療機関への訪問回数を増やしたことで、紹介件数は881件/年増加した。人材育成の観点では、引き続き聖隷福祉事業団や芙蓉協会と連携し、部門長会や階層別研修に参画した。働き方改革においては、職場長会へ超過勤務や有給消化状況を定期的に報告し、改善に努めた。又、看護部では3交替勤務から1.5勤務へ変更し、業務負荷の軽減を図った。

2020年度は呼吸器科の医師が着任する為、地域との連携の更なる強化、在宅事業と入退院支援室の連携、2020年度の診療報酬改正への対応、在宅からの地域包括ケア病床受入件数の増加、地域ニーズのある健診事業の拡充、費用コントロールの徹底などに取り組んでいく。

	前年実績	予 算	実 績	対予算差	対前年差
入院一日平均患者数 (人)	92	105	90	▲15	▲2
単価 (円)	57,044	56,400	57,490	1,090	446
外来一日平均患者数 (人)	485	477	464	▲13	▲21
単価 (円)	20,320	20,200	20,764	564	444

※外来には人工透析含む

3. 在宅(訪問看護ステーションけいあい・かみや、居宅介護支援事業所けいあい)

2019年度在宅事業では、新規採用者が訪問看護2名・居宅介護支援事業所1名あり、利用者の依頼を断ることなく受け入れることができた。

○訪問看護 両事業所合算

- ・利用者数 月平均 179人 (介護123人 ▲12%・医療56人 +14%)
- ・新規依頼 月平均 9人
- ・終了者 月平均 10人
- ・ターミナルケア加算 (医療・介護) 46人/年

利用者数は大きく変わらないが、癌の終末期や難病の方が多く、新規・終了の入れ代わりが多く、訪問回数の増減に影響があった。けいあいは来年度も引き続き機能強化型訪問看護療養費1の加算を継続取得、かみやは算定要件である居宅介護支援事業の再開と同時に機能強化型訪問看護療養費1の取得を目指す。

○居宅介護支援事業所

- ・利用者数 月148人 (予防24人 ▲0.8%・介護124人 +0.1%)
- ・新規依頼 月平均6人
- ・終了者 月平均3人

利用者数は大きく変わらないが、地域からの医療ニーズの高い利用者や困難事例の受け入れが多く、居宅においても新規・終了の入れ代わりが多かった。特定事業所加算1を目指しているが、月により算定要件に満たない月があった。2020年度は、利用者数の増加と上位加算の取得を目指していきたい。又、聖隷富士病院の地域連携室をはじめ、入退院についての連携が図れるようになったが、更なる連携強化とシステム作りが課題である。次年度も地域に根ざした質の高いサービスの提供を目指し、職員も常に自己研鑽し取り組んでいきたい。

	実績
月平均訪問看護利用者（人）	179人
医療保険単価（円）	9,839円
介護保険単価（円）	9,861円
その他（研究事業・リフレッシュ事業）	241,634円
ケアプラン数（件）	148人

【2019年度の主な行事】

行 事 内 容	実 施 日
新入職員オリエンテーション	4月 1日
新人防災研修	4月 2日
理事会	5月 17日、3月 16日
中堅研修(第1回～第5回)	5月 22日、7月 23日、8月 22日、 10月 18日～19日、12月 6日
聖隷福祉事業団施設基準内部監査	5月 28日
評議員会	6月 4日
東海北陸厚生局適時調査	6月 14日
新人研修(第1回、第2回)	6月 15日～16日、1月 15日
聖隷福祉事業団監査室関連法人外部監査	6月 19日
中堅ステップアップ研修	7月 2日
2年目研修	7月 6日～ 7日
患者満足度調査(外来)	7月 22日・26日
患者満足度調査(透析・入院)	7月(1ヶ月間)
高校生一日看護体験	8月 2日・21日
防犯講習会	8月 6日
役職者研修	8月 28日
医療安全研修(前期、後期)	9月 5日・25日、2月 19日・20日
総合防災訓練	9月 12日
第17回院内学会	10月 26日
保健所立入検査・消防立入検査	10月 30日
院内感染研修「みんなでインフルエンザを予防しよう」	11月 7日・13日
講演会「院内自殺予防と対策」	11月 21日
看護研究発表会	12月 7日
夜間火災避難訓練	12月 12日
聖隷福祉事業団監査室フォローアップ監査	12月 18日
医療ガス保安講習会	1月 15日
特別支援学校現場実習	1月 22日～28日(5日間)
中学生職場体験	2月 4日・5日
トリアージ訓練	2月 21日